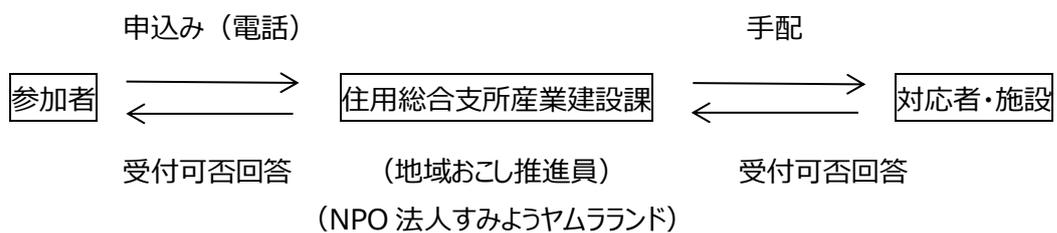


市集落モニターツアー台本

実施期間：2015年2月15日（日）
 定員：20人(最低催行人数4人)
 集合場所：名瀬中央公民館
 移動手段：バス(25人乗り)

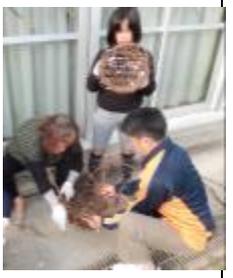
手配



行程

番号	時間	行程	場所	写真
1	12:30	集合	名瀬中央公民館	
2	12:30-13:00	移動(バス)	名瀬中央公民館 ⇒ 荒崎展望台	
3	13:00-13:10	荒崎展望台の説明 (集落歩きガイドによる説明①)	荒崎展望台	
4	13:10-13:13	移動(バス)	荒崎展望台 ⇒ 市集落入口	
5	13:13-13:25	トイレ休憩	市集落入口	

6	13:25-13:30	市集落の説明 (集落歩きガイドによる説明②)	市集落入口 ⇒ 市集落港	
7	13:30-13:40	移動(歩き)・市集落の説明 (集落歩きガイドによる説明③)	市港 ⇒ うじがみさま	
8	13:40-13:50	うじがみさまの説明 (集落歩きガイドによる説明④)	うじがみさま	
9	13:50-14:00	移動(歩き)・市集落の説明 (集落歩きガイドによる説明⑤)	うじがみさま ⇒ 市小中学校	
10	14:00-14:05	市小中学校の説明 (集落歩きガイドによる説明⑥)	市小中学校	
11	14:05-14:10	移動(歩き)・市集落の説明 (集落歩きガイドによる説明⑦)	市小中学校 ⇒ 住家の墓	
12	14:10-14:18	住家の墓の説明 (集落歩きガイドによる説明⑧)	住家の墓	

13	14:18-14:28	高浜の説明 (集落歩きガイドによる説明⑨)	高浜入口	
14	14:28-14:32	移動(バス)	住家の墓 ⇒ 古民家	
15	14:32-15:00	古民家休憩・きびしぼり体験	古民家	
16	15:05-15:10	移動(バス)	古民家⇒市公民館 ⇒市港	
17	15:15-16:15	選択体験① (クラフト体験)	市公民館	
18	15:20-16:20	選択体験② (ソーラ突きクルーズ)	市港	
19	16:15-16:18	選択体験①の移動(バス)	市公民館 ⇒ 市港	
20	16:30	モニターツアー終了	市港	
21	16:30-17:30	移動(バス)・終了	市港 ⇒ 市役所前	

シーン別詳細

1. 集合	
時間	12:30
場所	名瀬中央公民館
人員	地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	<p>・駐車場 ※車は事前連絡で市役所の駐車場に置くように案内する。 ※市役所にも事前に駐車の手続きを得る。</p> <p>地域おこし推進員</p> <p>お支払 人数の確認</p>

2. 移動(バス)	
時間	12:30-13:00
場所	名瀬中央公民館⇒荒崎展望台
人員	地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	<p>地域おこし推進員</p> <p>今日の日程案内</p> <p>ヤムラランド事務局長</p> <p>バス内でガイド 住用の概要など、簡単な説明</p>

3. 荒崎展望台の説明(集落歩きガイドによる説明①)	
時間	13:00-13:10 (10分)
場所	荒崎展望台
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	荒崎展望台で集落歩きガイドと合流
内容	<p>集落歩きガイド</p> <p>あいさつ 皆様ウガミンショウラン（こんにちは）。市集落に 67 年間住んでおります。山下と申します。</p> <p>今日は短い時間ですけれども、集落内を見て頂き、後ほどご意見などを伺えたら幸いです。</p> <p>1. 市海岸線 以前の海岸線はアダンが繁り、アダンの前には砂浜が広がり、昭和 20 年初期まで海水を汲み上げ、塩炊きが行なわれておりました。また、6 月には 新任教員の歓迎会を兼ねハマオレが現在も行なわれております。ハマオレの儀式としてムシケラシ（各自虫を葉っぱに包み、海を背に投げる）。当時は、農耕用として飼っていた牛のケンカや全員が輪になり座り、石で砂を搗きながら次の人に渡していくコメ搗き踊り（平成 4 年に奄美市の無形民俗文化財に指定）が行なわれていました。</p> <p>2. マッコヒジャ マッコとは（向かい）、ヒジャとは（海岸線）のことを言い、向かいの海岸線という意味です、昔海賊が財宝を隠したという伝説があり、また銅の脈があることから銅山の名称があり昭和初期まで金掘りも行なわれていた。</p> <p>3. トビウ島伝説 次に、トビウ島には伝説があり、昔は喜界島と市集落の間にあり、当時から自分たちの島だと言い、争いが絶えなかったため、双方で話し合いをした結果、それぞれの島の女神が羽根扇で招き合い勝った方の島とすると決め、当日、日の出と共に女神が羽根扇で招き合い、最初は五分五分であったが、最後は市の女神が若く力があつたため、一気に引き寄せ、今の場所に居座った。</p> <p>4. 旧道 昭和 40 年初期までは車道はなく、名瀬などに行く時の旧道がこの場所にだけ残っている。</p>

5. ソーラ突き（伝統漁法）

この漁法がいつ頃から行なわれて来たかは不明だが、かなり昔から行なわれていたと言いつて来た。

その漁法ソーラ（カマスサワラ）突きは、竹竿の先に紐でソーラジチ（イヌマキの木目を利用）を吊るし海面で操作しソーラが海面に表れた時、トゥギヤ（棒の先に三本のカカリある鉞）で突く。

6. クイズ（子供向け）

- ①トビラ島にはハブが（いる・いない）
- ②トビラ島にはマムシが（いる・いない）
- ③トビラ島の高さは（22,5m ・ 32,5m ・ 52,5m）



4. 移動(バス)	
時間	13:10-13:13
場所	荒崎展望台⇒市集落入口
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	

5. トイレ休憩 (約 10分)	
時間	13:13-13:25
場所	市集落入口
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	バスから下車 トイレ休憩 ※サン奄美でトイレ休憩することも良い。



6. 市集落の説明(集落歩きガイドによる説明②)													
時間	13:25-13:30												
場所	市港												
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)												
特記事項													
内容	<p>1. 「市」の由来 集落の頭に「市」という名がつくのは珍しく、朝市、市場など高い取引の意味をよする「市」で栄えた集落である。</p> <p>2. 世帯数・人口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>世帯数</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大正 14 年</td> <td>126</td> <td>804</td> </tr> <tr> <td>昭和 56 年</td> <td>117</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年</td> <td>97</td> <td>158</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 内海紹介 集落内にある内海は、現在は船溜まりや海老養殖場があるが、以前は全体が沼地であった。ノギリガサミ（カニ）や鰻などが豊富に捕れた。 当時は、マールン船が行き来し、砂糖や薪が積み出されていた。</p>	年代	世帯数	人口	大正 14 年	126	804	昭和 56 年	117	329	平成 27 年	97	158
年代	世帯数	人口											
大正 14 年	126	804											
昭和 56 年	117	329											
平成 27 年	97	158											



7. 移動(歩き)・市集落の説明(集落歩きガイドによる説明③)	
時間	13:30-13:40
場所	市港⇒うしがみさま
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	歩きながら説明
内容	<p>1. 集落周辺の切畑 集落周辺の山は、開墾され段々畑として芋が植え付けされていた。昭和に入り、田から畑へ基盤整備が行なわれた。</p> <p>2. ガンジャラ 集落内で一番神高い所。</p> <p>3. オデエ 集落内には約7カ所あり、旧9月9日は神酒や団子など7品を捧げ、家内安全や旅中の者の安全を祈願する場所。</p> <p>4. ヒルギ 10年くらい前、ヒルギの種や苗を約800本植え付けたが、8本しか根付かなかった。原因は砂地で泥が無いからかもね。 (クイズ) ヒルギはオス・メス共に花が咲く。</p> <p>5. チリ地震 昭和35年5月24日に、津波があり多くの田畑が飲み込まれた。津波の特徴として潮の満ち引きがなかった。</p> <p>6. 保育所 旧保育所は、耐用年数が過ぎ危険であるため、公民館に移設された。</p>



8. 氏神様の説明(集落歩きガイドによる説明④)	
時間	13:40-13:50
場所	氏神様
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	<p>氏神様</p> <p>以前の氏神様は、学校の校門横に祀っていたが、大正初期ガンジャラに移動させたが疫病で住民が多数死亡したため、元の位置に戻し、その後校舎新築のため現在地に祀られた。</p> <p>玉石の由来はどこから流れ着いたのか不明。</p>



9. 移動(歩き)・市集落の説明(集落歩きガイドによる説明⑤)	
時間	13:50-14:00
場所	うじがみさま⇒市小中学校
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	歩きながら説明
内容	<p>1. ブタンクワック 砂木裏を歩く時にブタンクワック（豚の子供）が出て来て股を潜られると死亡すると言われ、その場所を歩く時は足を交差させて歩く。</p> <p>2. 公園 郵便局員が正午になるとサイレンを鳴らしていた場所。</p> <p>3. 松先 現在の豊年祭は公民館前で行なわれているが、以前はここ（松先）で行なわれていた。</p> <p>4. ヒルギ 集落内では、ここだけオヒルギが自生している。</p> <p>5. 山城 住用町内には、約 11 カ所の山城があり、市集落には 2 カ所ある。図面で辿って行くと、市集落から西仲間（御守山）まで直線で結ばれるため、中世紀に烽火を揚げる場所ではないかと言われている。</p>



10. 市小中学校の説明(集落歩きガイドによる説明⑥)	
時間	14:00-14:05
場所	市小中学校
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	<p>1. 市小中学校（明治8年・市簡易小学校設立） 創立 140 年 昭和 24 年当時の生徒数：174 人 現在：小学校 8 名、中学校 1 名（計 9 名）</p> <p>2. 黒糖作り（校庭の圧搾機の前で） 昭和 25 年当時まで水車・牛車など 7 か所でクロザタ（黒糖）作りが行なわれていた。ウギイ（さとうきび）を絞り、釜で煮、鍋に移し、石灰を加え、固まるまでかき混ぜ続ける。</p>



11. 移動(歩き)・市集落の説明(集落歩きガイドによる説明⑦)	
時間	14:05-14:10
場所	市小中学校⇒住家の墓
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	歩きながら説明
内容	住家の屋敷跡 住家の屋敷には、「ウンヤ(上屋)」「ナンヤ(中屋)」「シャンヤ(下屋)」があった。ウンヤは宇検村で焼失、シャンヤは城で新築のため取り壊され、ナンヤは加計呂麻島にあり現在も使用されている。



12. 住家の墓の説明(集落歩きガイドによる説明⑧)	
時間	14:10-14:18
場所	住家の墓
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	<p>1. 住家の墓 (加治木石・山川石) 住家の墓石は加治木石や山川石を使用している。</p> <p>2. サガリバナ (花言葉：幸せになれる) 7月から8月にかけて夜に開花する。花は白とピンクがある。以前あった池の周辺にサガリバナやサキシマスオウが生い茂っていた。</p> <p>3. ヒルギ (オス) 内海の中でオヒルギの群生地。</p> <p>4. 松元家の家紋 アダンの家紋は珍しい。</p>



13. 高浜の説明(集落歩きガイドによる説明⑨)	
時間	14:18-14:28
場所	高浜入口
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	<p>1. ターバマ</p> <p>平成18年度に1集落一ブランド認定。</p> <p>旧の9月9日海難事故から身を守るための祈願場所。</p> <p>浜が高いため、波が打ち寄せるたびに石が転がって角が取れる。浜全体が玉石になっている。ビーチロックが形成されている。</p>



14. 移動(バス)	
時間	14:28-14:32
場所	住家の墓⇒古民家
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムランド事務局長(1名)
特記事項	山下茂一氏の実家
内容	墓の前で待機していたバスに乗って移動



15. 古民家休憩・きびしぼり体験	
時間	14:32-15:00
場所	古民家
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	事前にお茶菓子を用意して置く
内容	<p>1. 休憩 好きな場所に座ってお菓子を食べながら休む</p> <p>お茶菓子の説明：サン奄美の商品 (たんかんジュース、たんかんパウンドケーキ、たんかんかりんとう、サタ豆)</p> <p>2. 古民家 古民家の特徴として、床の間の後ろに内と外用の廁が二つあり、家の構造としてオモテ（来客用）、ネッショ（寢所）、トーグラ（炊事）に分けられていた。ヒログヤ（家畜小屋）、サスヤ（倉庫）、五右衛門風呂が離れにあった。家が古いほど釘は使われていない。</p> <p>3. きびしぼり体験 休憩が終わったら、自由に体験させる。 自分でキビをしぼり、キビ汁を飲んでみる。</p> <p>※酔い止め薬は 30 分前に飲むように案内する</p>





16. 移動(バス)	
時間	15:05-15:10
場所	古民家⇒市公民館⇒市港
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	公民館に先に降ろしてから港へ クラフト体験(公民館)：地域おこし推進員(1名) クルーズ(港)：集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(1名)

17. 選択体験①(クラフト体験)	
時間	15:15-16:15
場所	市公民館
人員	地域おこし推進員(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)、カゴ編みの先生(1名)
特記事項	カゴ編みの先生と合流
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手、麻ひも、剪定はさみ ・つる(公民館の倉庫に事前に用意して置く) ・サンプル ・作り方の説明書、写真 <p>地域おこし推進員</p> <p>カゴ編みの先生を紹介する</p> <p>カゴ編みの先生：久保田はるか氏</p> <p>あいさつ</p> <p>※天気によって場所を決める(室内・室外) 室内の場合、ブルーシートを使用する。</p>



18. 選択体験② (ソーラ突きクルーズ)	
時間	15:20-16:20
場所	市港
人員	地域おこし推進員(1名)、集落歩きガイド(1名)、船長(2名)
特記事項	船長さんたちと合流
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・船(2隻) ・救命ベスト ・お水、袋 ・保険の確認 <p style="margin-top: 20px;">地域おこし推進員</p> <p>船長さんを紹介する</p> <p style="margin-top: 20px;">船長さん：松下啓徳氏、諏訪原清高氏</p> <p>あいさつ</p> <p style="margin-top: 20px;">※救命ベストの使用方をしっかりして置く</p>



19. 選択体験①の移動(バス)	
時間	16:15-16:18
場所	市公民館⇒市港
人員	地域おこし推進員(1名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	クルーズの時間に合わせて移動
内容	

20. モニターツアー終了	
時間	16:30
場所	市港
人員	集落歩きガイド(1名)、地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	記念写真撮影 集落歩きガイド お別れ 本日はありがとうございました。

21. 移動(バス)・終了	
時間	16:30-17:30
場所	市港⇒市役所前
人員	地域おこし推進員(2名)、バスドライバー(1名)、ヤムラランド事務局長(1名)
特記事項	
内容	地域おこし推進員 アンケート作成

*** イチフラ[2015/02/15/sun] ***

モニターツアーのアンケート

この度は、モニターツアーにご参加くださり、ありがとうございました。今回のモニターツアーは、平成 26 年度、奄美市が大学生を活用して取り組んでいる「知の地域おこし連携事業」の一環として実施いたしました。「知の地域おこし推進員」は住用町で地域の方々との交流を通して歴史調査や新たな魅力の発掘を進めてきました。今回はその魅力が体験できるプログラムの一つとして NPO 法人すみようやムラランドと連携し企画いたしました。

=====

* お住まいの市町村をお答えください。

()

* 今回のモニターツアーはどのような経緯で参加されましたか。

学校からのお知らせ

ポスターを見て参加 (どこで見ましたか:)

その他 ()

===== * 住用について * =====

* 住用・市に来たことがありますか。

住用 (はい ・ いいえ) / 市 (はい ・ いいえ)

* 行ったことがある場合、どこに行きましたか。

住用 () 市 ()

* 住用・市の印象・イメージはどうでしたか。また、どう変わりましたか。(来訪歴ない場合も)

()

* また住用・市集落に来たいと思いますか。

(いつでも来たい ・ たまに来たい ・ イベントがあれば来たい ・ 来たいとは思わない)

* 友人・知人へ今回のようなツアーを薦めたいと思いますか。

(強く薦めたい ・ 機会があったら薦めたい ・ 薦めたくない)

* ツアーの値段はhowですか。

(とても高い ・ やや高い ・ ちょうどよい ・ やや割安 ・ とても安い)

===== * ツアーについて * =====

* 今回のツアーのどの部分に期待をお持ちでしたか。

下記の中から、該当するものを選んで○をお付け下さい(複数可)。

①集落歩き ②さわら突き体験 ③クルーズ ④さとうきびしぼり ⑤古民家体験 ⑥黒糖のおかし・お茶 ⑦クラフト体験 ⑨その他(具体的に:)

* 今回のツアーに参加しようと思った理由や決め手はなんですか。

()

===== *満足度*《☆をぬりつぶして下さい》=====

(★かなり不満 ★★やや不満 ★★★ふつう ★★★★やや期待以上 ★★★★★かなり期待以上)

市集落歩き ☆☆☆☆☆

主な理由：

古民家休憩 ☆☆☆☆☆

主な理由：

選択体験（さわら突きクルーズ・クラフト体験）☆☆☆☆☆

主な理由：

送迎 ☆☆☆☆☆

主な理由：

全体的な運営☆☆☆☆☆

主な理由：

最後に、今回のツアーで改善してほしいところ、ご不満に思ったところ、また、今後実施してほしいツアーや体験プログラムがございましたら、ご自由にお書きください。

=====

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

いただきましたご回答を、今後の住用の観光プログラムの参考にさせていただきます。

新たな企画・実施の際には、心よりご参加をお待ちしております。

※今後、イベントのお知らせをしてもよいという方は、ご都合のよい連絡先をご記入ください。

【

奄美市「知の地域おこし連携事業」 地域おこし推進員 宋・和田

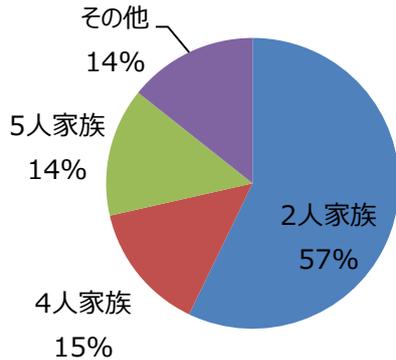
「イチプラ」モニターツアーアンケート結果

実施概要

調査対象者	7 家族 (20 名)
調査実施日	2015 年 2 月 15 日 (日)

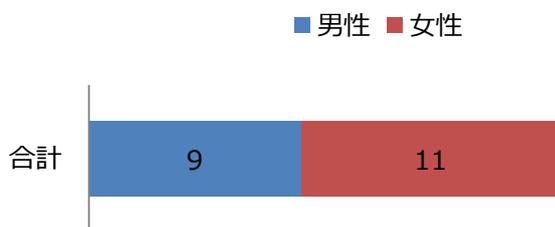
1. 対象者プロフィール

【家族構成】



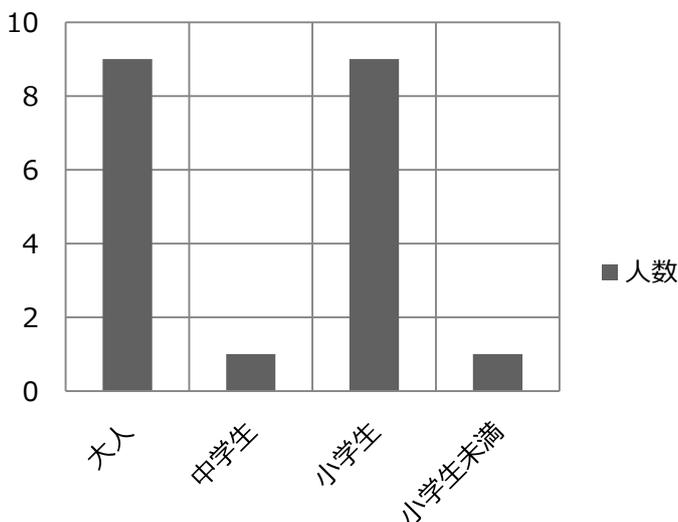
2人構成で参加した場合は7組のうち4組でもっとも多い。家族全体で参加したのは、1組(5人家族)である。その他の場合は、親子2人構成に子供の友達一人と同行した参加者である。

【性別】



今回の参加者の男女比率はあまり差がなく、さらに、大人だけのツアーではないので、性別による選好度は把握できない。

【年齢】



このツアーの具体的なターゲットは「小学生の子どもがいる家族連れ」であり、参加者もその通り一致した。

【居住地】

今回の参加者は7組とも名瀬に居住している。

2. 参加経緯

■ その他 ■ ポスターを見て参加 ■ 学校からのお知らせ



名瀬にある小学校を中心に PR 活動を行ったので、このような結果になったと思われる。小学校の他には、名瀬市内の公民館といくつかのお店にポスターとチラシを置いてもらった。

3. 住用について

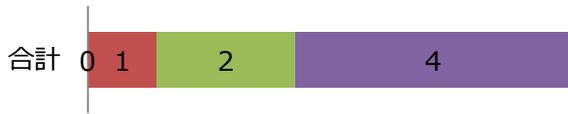
【訪問経験】

	住用	市
場所	バンガロー 体験交流館（2人） 奄美アイランド 城集落 集落内 フナギョの滝 マングローブ	小学校 ターバマ
合計（人）	6	2

イメージの変化	<ul style="list-style-type: none">・市については端にある不便といったイメージから魅力あふれる集落(集楽)だと感じるようになった。・地域を愛し頑張っている感じがした。・静かな場所・集落はやはり過疎。自然がそのまま残っていて安心できた。・市集落の歴史を知り、面白かった。・山下さんにまた会いたい。まだまだいろんなことを教えてもらいそう。・ゆったり、のんびり・初めて行ったが、ガイドしていただいて色んな勉強になった。また来てみたいと思った。・村木での交易、マールン船の話は大きくPRしてもいいと思う。
---------	--

【再訪の意向】

- 来たいとは思わない
- イベントがあれば来たい
- たまに来たい
- いつでも来たい



【友人・知人にツアーを薦めたいか】

- 強く薦めたい
- 機会があったら薦めたい
- 薦めたくない



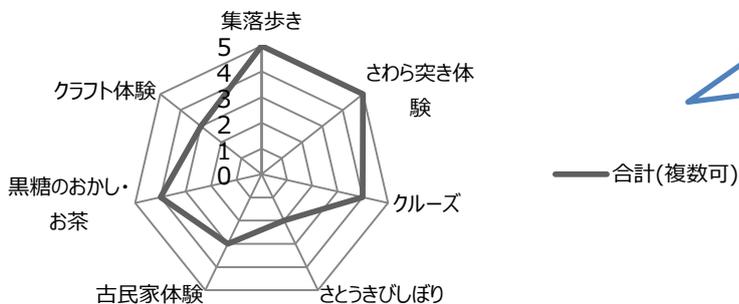
【値段】

- とても高い
- やや高い
- ちょうどよい
- やや割安
- とても安い



今回はモニターツアーであったので、値段の設定が安くなっているのにも関わらず、大半が「ちょうどよい」と感じており、さらに「やや高い」と思う参加者もいた。家族で参加することで、まとめると支出が高くなるのが原因の一つとして予想される。このツアーを実際に商品として売るためには様々な工夫が必要であると思われる。

【期待した部分】



期待した部分については、PR の際に全面に出していた「集落歩き」と「さわら突き体験」、「クルーズ」が大半を示した。

参加した理由・決め手	<ul style="list-style-type: none"> ・普段なかなかできないさわら突きクルーズに興味があったから。 ・ガイドがある。娘がクラフトをやりたいと希望したから。 ・どんな所か行ってみたいと思ったから。 ・先人の生活や知恵など知れる良い機会。知りたいと思った。 ・子供と一緒に体験できるため。 ・子供が海・山好きでクルーズができるため。 ・奄美で行ったことがないため。 ・奄美をもっと知りたかったから。
-------------------	---

4. ツアーに対する満足度

【市集落歩き】

- かなり不満 ■ やや不満 ■ ふつう
■ やや期待以上 ■ かなり期待以上



主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史も感じ、学び多いものであった。 ・市にはあまりいいところがないと期待していたが、いろんなところがあった。 ・山下さんの案内は、とても楽しく引きつけられた。人や自然、残されているもの、今あるものに歴史・意味があり、へえ〜と関心させられたり、知らなかったことも多く、知れてよかった。 ・パンフレットが良かった。 ・むかしの話しなどを聞くことができてよかった。 ・山下さんの人柄の良さがにじみでていた。子供が家に帰ってから話した山下さんの面白かった点「おじちゃん説明早くして（與島さんに対して）」、「巻き戻して話します」
-------------	---

【古民家休憩】

- かなり不満 ■ やや不満 ■ ふつう
■ やや期待以上 ■ かなり期待以上



主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの思いがとても伝わってきて嬉しかった。 サン奄美いかなくちゃと思った。 ・古民家は予想と違ったが、おかしは種類が多く驚いた。 ・食べたことのないお菓子を食べてよかった。
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし最高でした。お菓子の入れ物も船にみたくてか、手作り感が心あたたまるものがありました。美味しかった。 ・たんかんジュース、ケーキ、かりんとう美味しかった。 ・古い家の作りが知れた。 ・歩いたあとのおやつは大変甘く感じる。ぜひ今後も取り入れてほしいメニュー。家の説明もあったが、絵も用いて話してもいいと思う。
--	---

【選択体験】

■ かなり不満 ■ やや不満 ■ ふつう ■ やや期待以上 ■ かなり期待以上



クルーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験できて楽しかった。 ・楽しかった。小型の船や沖合に行く体験はあまりできないのでよかったです。魚一匹でも見たかった！残念！です。 ・実際の体験を一人ずつすることができてよかった。 ・さわらは、こうやってつれると知れたこと。 ・子供が特に喜んでた。釣れる釣れないは別として、船に乗ること自体が特別な体験。船に「昔のソーラ突きの写真（白黒）があったら話が盛り上がるかも。 ・海から見る住用の山々の景色が絶景。
クラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・思った以上に作品が大きかった。時間が足りず、娘の作品しかできなかった。 ・カゴを作る時、難しそうだったけど、少し簡単で、できるととても楽しかった。

【送迎】

■ かなり不満 ■ やや不満 ■ ふつう ■ やや期待以上 ■ かなり期待以上



主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・細部まで気配りいただきありがたかった。 ・ガイドがよかった。 ・面白いガイドさんが勉強になることを教えてくれた。 ・送迎の時の担当者さんからの語り、説明がよかった。
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの中でもいろんな話が聞けてよかった。 ・バスツアーを考えた時、説明+奄美のシマ唄（三味線付き生うた）があったら面白いかも（付加価値プラス） ・現地集合でなく、バスからスタートはわくわく感もあり、和田さんや桑野さんのガイドは勉強されていてすごい！と思いました。よかったです。
--	---

【全体的な運営】

■ かなり不満 ■ やや不満 ■ ふつう ■ やや期待以上 ■ かなり期待以上



<p>主な理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な運営をされていてとても快適でした。 ・参加してよかった。楽しかった。 ・クラフトや古民家休憩などで、お菓子を食べたりしてとても楽しかった。 ・全ての担当者が丁寧な説明をしていただき、また、天候にも恵まれ思い出に残る体験ができました。 ・良かった。 ・良く練られていました。お疲れ様でした。 ・スタッフと山下さんなど、地域の方の思いが同じであることが伝わりました。雰囲気がよく、よく連携されていると思いました。時間的にも長くなく無理のない負担もなくよかったですと思います。
--------------------	---

5. 最後に

<p>改善してほしいところ、ご不満に思ったところ、今後実施してほしいツアーや体験プログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌーで海岸線を見る（海賊の宝が隠されている洞窟など） ・期間限定になるが、モダマを見に行く。 ・クルーズはこの時期寒そうだったのでやめたが、暖かい時期なら興味がありやりたかった。 ・アンケートはバスの中では酔うので、他の時間にしてほしい。 ・今回のさわら突きのような、船で海へ出て行くツアーをもっと増やしてほしい。 ・地域おこし頑張ってください。 ・とても大満足です。ありがとうございました。 ・もう少し時間を伸ばしても良かったのかと思いました。 ・全体的にはどれも楽しかったです。ありがとうございました。 ・ガイドの際、キーとなる「言葉」「伝説」「風景（昔）」はフリップにして示したら、インパクトも強いし、お客さんの理解度も深まるかも。特に方言は、内地の方々には分からないので「ウォーヤ（上の家）」などとフリップで示したら良いと思った。
--	--

モニターバスツアー 「イチフラ」まとめ

(1)実施内容

《テーマ》

良漁場に恵まれ、昔交易で栄えたと言われる市集落を歩き、伝統の漁法や手仕事を体験しよう!

《目的》

名瀬在住の人にとって、住用や市集落は遠く設備も少ない田舎というイメージがあり、なかなか訪れる機会がない。島外の観光客の受け入れ態勢づくりも兼ねて、まずは島内の方が住用や市に来るきっかけを作り島内のファンとなってもらおう。

《概要》

タイトル : 住用で遊ぼう! プロジェクト第一弾「イチフラ」モニターバスツアー～市集落でふらっとしよう～

ターゲット : 島内の若い家族連れ

定員 : 20名(満員)

料金 : 1500～3000円(選択体験と年齢によって変動)(小学生未満:無料)

内容 : 市集落歩き・古民家でお茶菓子休憩・さとうきび絞り体験・選択体験(伝統漁法・ソーラ突きとつるかごクラフト)

(2)準備過程

6週間前	4週間前	3週間前	2週間前		
1/7-	1/19,20	1/23-30	1/30-2/2		
<ul style="list-style-type: none"> ・プラン案出し ・住用と市集落独自の魅力とテーマ決め ・運営スケジュール立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施 ・ニーズの発掘 ・ターゲット・内容・料金の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、ポスターづくり(キャッチコピー・コンセプト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宣伝(小学校へのチラシとポスターの配布・名瀬のお店と公民館にポスター貼り、FB・新聞・ラジオ) 		
← この間、適宜山下さんと何回か打ち合わせ →					
一週間前	前々日	前日	当日	一週間後	2週間後
2/5	2/13	2/14	2/15	2/20	2/27
<ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブル作成 ・当日のスタッフの役割分担と日程確認 ・必要なものリスト ・アンケート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い出し ・集落マップ(イチフラ) ・使用する資料の準備(写真や資料のラミネート) ・ツアー流れ最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者へ直前の確認の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフで連携しツアーを実施 ・アンケート回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフへ謝礼金の手渡しとお礼 ・打ち上げ ・今後の話 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者へ俺の手紙と写真、新聞を送る

(3) 今回のツアーの分野別ふりかえりと今後活かしたい事

		今回	今後
運営	準備期間	約 6 週間	新しい企画は最低 2 ヶ月かけて準備する
	企画	今回は時間が限られていたため、基本的にインターンの 2 人が企画・実施した。	今後は、ヤムランド会員などでツアーの中身を考えたり宣伝したりできるチームが作れるとよい。
	打ち合わせ	集落歩きデモや選択体験でお世話になる方への相談も含め、ツアー全体の打ち合わせを山下茂一さんと 6 回以上行なった。	主旨の理解や意思統一がしっかりできていけば、当日も慌てることはないし、今後の活動にもつながっていくと思われる。
	宣伝	ターゲットを絞ったため宣伝は小学校を重点的に行なった。新聞に掲載された時点でクルーズは定員オーバーだった。	定員オーバー後に問い合わせた方には、次回の企画の案内ができるよう連絡先を聞く。
概要	テーマ	市集落の文化や歴史を感じ、体験する	集落歩きを含むプログラムでは、それぞれシマの特色を活かした体験を合わせて独自のコンセプトづくりができれば。
	目的	住んで遊んでもらうきっかけづくり	こういったモニターの実施やイベントを企画し、まずは島内のファンを増やす。
	タイトル	「住用は遊べる場所」という思いをこめたプロジェクト名にし、さらに「イチフラ」と四文字で覚えやすいタイトルにした。	今回は「住用で遊ぼう！プロジェクト」第一弾だったので他の集落でぜひ第二弾、三弾と続けていきたい。これからもタイトルは四文字がベスト。
	ターゲット	島内・名瀬在住の若い家族連れ。観光客は島の外だけではなく、島在住の家族にもこういったツアーのニーズがあるとわかった。	ツアーの質を上げ、採算がとれるよう調整していく必要がある。それから徐々に島外の観光客の受け入れ体勢を整えて行くべき。
	定員	20 名（最低催行人数 4 名）、集落歩きでも無理のない人数ではあった。	これ以上増えると集落歩きは厳しいし、ツアーの行程に余裕が必要そう。
	料金	1500-3000 円のモニター料金。	今後採算をとるには厳しい。
	交通	袖観光課から 29 名乗りのバスを借りた。（補助席含めて）	今後はしまバスや旅行会社にツアーを組んでもらうか、現地集合にするか。

内容	市集落歩き	子供が多かったので予定より時間がかかった。大人も子供も興味のある場所は違ってそれぞれ楽しんでいた。	車で移動する部分を増やすなどして負担を軽くしたい。ターゲットによって楽しませ方も柔軟に対応していきたい。
			
	古民家体験	貴重な昔の造りの家が綺麗な状態で残っているのを活用できて良かった。	図を作成したり、ツアーの時は民具を置いたりして雰囲気を出してみたい。
			
	茶菓子休憩	サン奄美のお菓子を複数紹介でき、器を今回のために手作りした。	せつかなので帰りにサン奄美に寄る。新しいパッケージにつながっていけば。
			
	きびしぼり	昔の道具ではなかったが、初めて体験する子が多かったので喜ばれた。	昔式の圧搾機が復活できたら理想的。農業体験として、季節によって変更する。

		
ソーラ突き	<p>実際にスタッフが体験しないまま実施したので不安な面が多かったが、銚をついたりして楽しんでいた。潮は丁度よかったが、船が多いこともあってかさわらは上がってこず残念だった。ライフジャケットについて海上保安部から指摘があった。</p>	<p>ソーラ突きはとても人気があるので、今後も定期的な実施ができればよいと思う。やるならタイミングを合わせ、本当に鯖を突いたり、それを食べたりできるようなものでないと満足度は高くないだろう。安全面は徹底していきたい。</p>
		
クラフト	<p>宣伝する時はつるとサングを両方準備し選択させる予定だったが、サングの準備ができず、つるのみになった。レベルを用意したかったが、カゴ編みに統一した。今回のクラフトの人数は7人で、先生1人と補助1人が運営したが、人手が足りなくバタバタした。</p>	<p>体験の前につるをカットして置き、キットを作って配ると時間が短縮されると思う。今回のようにつるかサングどっちかに決めて、作れるレパートリーを増やす。サンプルとして事前に作ったものや写真を用意する。クラフトの運営は最低2人は必要であると思われる。</p>
		

その他	ポラロイド	撮るタイミングがつかめなかった。	ツアーの一番最後に家族写真がベスト。
	ガイド	今回はターゲットの小学生に合わせて、クイズを出したり簡単な言葉で説明したりしていた。	山下茂一さんは子供の相手に慣れていたので、今後他の集落で実施するときにはガイドの参考にしてほしい。
	集落マップ	スポットや説明など地図に入れる情報は少なくし、マークを多用した。小学生の子供たちもじっくり見ていた。	色んな世代に対応できるよう、漢字にふりがなを振ったり文字を大きくしたり、説明文の演出を工夫していきたい。
	資料	準備不足のため、市集落の写真や歴史に関する資料などを準備できなかった。アンケートからも、絵や昔の写真などがあつたらわかりやすい、との声があった。	市集落のようにスポット間の距離がある場合は写真を見せる、ストーリーを話すなどしたい。絵や写真をもちながら説明した方が聞いている方は頭に入りやすい。A4-3でラミネートするなど。
	おもてなし	トイレ休憩の時間を一カ所しか予定していなかった。 暑い日だったが濃いジュースと熱いお茶を出してしまった。 バスの中での過ごし方をあまり考えていなかった。	トイレの数が限られていれば、特に人数が多くなるにつれて休憩はこまめに入れた方がよい。 自分で水分補給をしてもらったり、夏場は特にその声かけをした方がよい。 バスも疲れない程度に楽しませるアイスブレイク的なゲームができればよい。

(1)補足

- ・ 《感想》初めてでどうやって進めていけばいいかわからない点多々あったが、アドバイスをもらったり前例を調べたり、またたくさんの方の協力の元、なんとか無事企画・実施することができた。
- ・ 《実施日程》時期を決めかねていたが、山下久美子さん(奄美大島観光協会)のアドバイスで結ノ島CAMPに続いて参加してもらえるよう2/15(日)に決定した。予定より早い開催となったので、ツアーの段取りも料金や体験の組み合わせなど形から入って進めた。本来は、市集落に住む方の意見を聞き、ヤムランドの会員とツアーの準備を協力して進めるのが理想的であったと思う。
- ・ 《ターゲット》ターゲットによってツアーの内容やテーマ、料金はもちろん、集落歩きのガイドの説明も変えていくべきだと考え、今回は内容を練る段階でターゲット層にアンケートをとり、それを参考に実施し、ある程度は狙いに沿った結果が得られたように思う。(例:「集落歩きのために高いお金は出せない」→集落歩きをとりいれたいがツアーのメインにはしにくいので目玉となる体験を用意し、その合間にガイドから話を聞いて集落について興味をもってもらおう。「奄美は家族で遊べるアトラクションみたいなものが少ない」→奄美には自然が豊かなのでそれを活かした体験で遊んでもらう。など)「観光客」=島外の人だけではなく、島内の潜在観光客をターゲットに、ということで今回は行なったが、今後徐々に改善し半年・一年後には島外の観光客向けにも実施できるようシステム・チームづくりが必要である。
- ・ 《準備》ツアーを企画する以前から、聞き取りや集落歩き調査などである程度の情報収集と人間関係を構築した上で、「集落の魅力の発掘」と「資料への落とし込みとマップの作成(必要ならば)」、「魅力を生かした体験の組み合わせ」をすることで満足できる体験プログラムを練ることができると思う。また、ターゲットのニーズを把握し心を掴む提案ができなければ、ただの自己満足に終わるし持続しない。
- ・ 《スタッフのコミュニケーション》市集落のガイドをした山下茂一さんとは、集落歩きやツアー全体について6回ほど市集落で打ち合わせをした。体験の先生とも、内容や時間変更があった際の対応ができるよう、打ち合わせは入念にしておくべきだと思う。実施するプログラムがどういう位置づけなのか、どういう目的でやるのかが意思疎通できていないと後々厄介になる。つるクラフトやソーラ突きクルーズについては、実際に自分たちが体験したことがないまま話だけを聞いてツアー内容を決定してしまったので、色々と調整が大変だっただけでなく魅力の伝え方も中途半端になってしまったように思う。
- ・ 《今回のモニターツアーの特徴》伝統文化(漁法)を観光プログラムで試すこと、ターゲットを明確に設定すること、コンセプトが明確であること、集落歩きをメインにしないことが挙げられる。集落歩きと特徴的な体験をとりいれた観光プログラムのモデル集落とし、他の集落で企画・実施するときも参考になれば幸いである

▼今後の実施計画

- ・ 《収益》持続可能性を左右する収益について、ネックとなるクルーズ代とバス代が事業費で賄われるのは今回だけであり、調整していかなければならない交通経費に関しては、主に島外の人向けには観光商品としてバス会社や旅行会社に取り扱ってもらったり、島内の人向けには現地集合現地解散でツアーを組んだりする方法が考えられる。ソーラ突きクルーズに関しては、船の借り上げ代だけでなく操縦する人をツアーの間拘束する分の人件費に加え、実際に魚を突くためにある程度柔軟で余裕のある時間が必要であることを考えると、ついでに選択体験ではなくソーラ突き+αさわら料理（今後の理想はそのまま宿泊も）などメインで実施する価値も需要もあると思う。収益を出せるよう最低催行人数の調整と適切なPRをしたい。
- ・ 《食の開発》ソーラ突きは、魚が突けなかった場合の対処も兼ねた鱈料理の用意ができるとなお良い。以前、市の事業で住用は「さわら弁当」というものを作っているので、そこでしか食べられない弁当を季節・数量限定で開発し、ツアーでふるまうのも良いのではないか。やるとすればさわらの味噌漬けを作っている漁業集落の商品開発を兼ねて協力してできないか、代表と話したい。
- ・ 《副次的な影響と地元根ざした企画》ソーラ突き漁の時期に合わせて季節限定の体験として確立し、あまみシマ博覧会またはヤムラランドで無理のないレベルで実施して行く事が出来れば、伝統漁法の保存・またわずかではあるが担い手の副収入となるだけでなく市集落の認知度も上がるだろう。クラフトに関しては、「集落で受け継がれて来た、自然を活かした手仕事を集落の人に教えてもらう」という風に集落の人と触れ合えるようなものであると他で実施されている体験プログラムよりも付加価値が上がると思う。あまみシマ博覧会を活用して発掘していったらよい。いずれにせよ、集落の担い手の意思を尊重するため、対話を続けていきたい。



イチピック(2014.11.30)

時間	スポット	テーマ別メモ	自分メモ
9:00	支所集合・グループ分け	★☆☆ (例：①の人)	
9:10	出発	危険度をめりつぶす。	
	お立ち台	☆☆☆	
	石抱きガジュマル	☆☆☆	
	高千穂神社	☆☆☆	
	山間権現	☆☆☆	
	荒崎展望台	☆☆☆	
10:30	市集落入口		
市	トイレ・森商店〈5分〉	☆☆☆	
	氏守神社	☆☆☆	
	子豚伝説	☆☆☆	
	小中学校	☆☆☆	
	住家の屋敷跡	☆☆☆	
	住家の墓	☆☆☆	
	高浜入口	☆☆☆	
11:30	市出発		
	アラマタ・ガジュマル	☆☆☆	
12:00	青久着		
青久	ひまばん・休憩	☆☆☆	
	むちゃかなの碑・石垣	☆☆☆	
13:30	青久発		
14:00	市公民館着		
14:10	ふりかえり〈約40分〉		
15:00	お茶会〈希望者〉		

鹿児島の大學生のナオトとケンジ (20)

勉強やバイトに追われる毎日に癒しを求めてきた。奄美の海と自然がメインの目的。

マリンスポーツ、山登り等アウトドアが大好き。

おじいちゃんが奄美にいるので友達と遊びに来た。ダイビングと滝めぐりのあと、薦められて集落歩き。2人とも3回目の奄美。



ターゲット

おじいちゃんがいる名瀬以外の新たな奄美の一面を知って、奄美にもっと来たくなる。サークルの友達を連れてきたくなった。



【お題一】 シャッターポイントを探せ！「 」

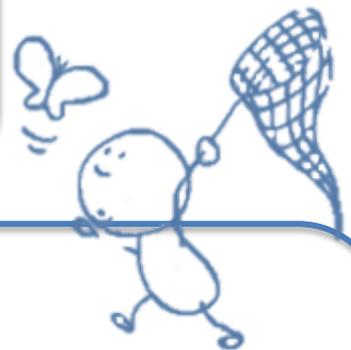
写真をとるならここでしょ、という場所を。

【お題二】 ここで一句「 」

このツアーの魅力が惹き立つような一句を。

〈テーマ〉

- ① 危険なところ
- ② おもしろいところ
- ③ 新鮮なところ
- ④ つまらないところ
- ⑤ もっと知りたいところ



〈アンケート〉 思ったことをつらつらと。

- ツアー内容 :
- 休憩の入れ方 :
- ガイド案内 :
- 体力的に :
- 人数の多さ :
- ふりかえり :
- その他 :

イチピック ワークショップ「魅力探し」まとめ

項目	場所	内容	解決策
①危険度	山間権現	階段が急	手すり
	高千穂神社	すべる	年齢制限など
	青久までの道	スリルがある	便利になりすぎず安全な道
②面白度	荒又ガジュマル	神秘的な植物	水道パイプを 目立たなくする
	氏守神社	ヘシカリンドウ群生	写真ポイントを決める
③新鮮度	山間権現	穴が不思議、	白い馬と神様の伝説に ついて詳しく知りたい
	石抱きガジュマル	海と巨木	神社側・越次橋にサイン
	森商店	生活を垣間みれる	お店でも観光情報が 聞けると嬉しい
	ひまばん（森家）	古い民家にあがれた	
	青久集落	住用の秘境	長期滞在にしたい
④ つまらな い度	高千穂神社	観光客には 見るものがない	坂がきついから、 高千穂坂と名付ける
	市集落	集落を歩いた 感じがしない	中を歩くコースが あればよい
	お立ち台	ゴミが多い	もっと下に降りて 植物に触って説明を聞く
	住家の墓	墓をくわしく見るより	高浜をしっかりと見たい
⑤もっと 知りたい 度	青久の昔の道	昔の峠道もっと近い	ピクニックで プチトレッキング
	昔の風景の写真が 見たい	昔の暮らしが 分かって面白い	口頭説明だけでなく 説明資料も用意する
	植物の名前と特性、むちゃかなのストーリー、住家の歴史とその後 等		